

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和3年9月1日

京都府知事 様



提出者

住所 京都府宇治市槇島町目川100番地

氏名 山崎製パン株式会社京都工場

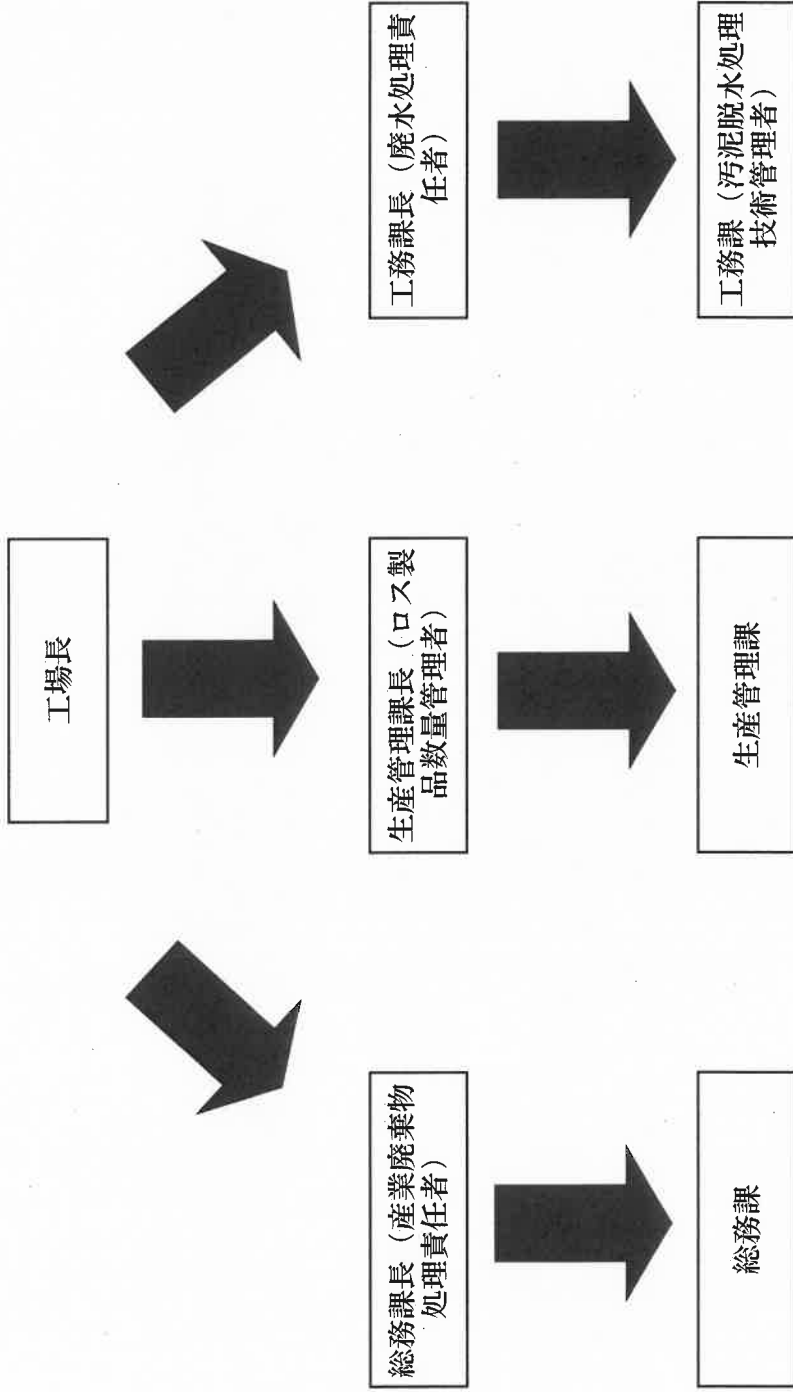
工場長 佐藤 雄二

電話番号 0774-23-5811

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	山崎製パン株式会社京都工場
事業場の所在地	京都府宇治市槇島町目川100番地
計画期間	令和3年4月～令和4年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	パン和洋菓子の製造及び卸
② 事業の規模	全国(京都工場については京都府他)
③ 従業員数	1300名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙に記載。

山崎製パン株式会社 管理体制図



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	排 出 量	1170.69 t	t
	(これまでに実施した取組) ・分別の細分化を図り、リサイクル出来る物を無駄に廃棄しない。 (プラ容器の中にペットボトルなどを混入しないよう分別徹底化)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	排 出 量	1,100 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・更なる分別の細分化を図り、リサイクル出来る物を無駄に廃棄しないよう、従業員に働きかける活動を計画していく。 ・製造課、資材課とも連携することで、在庫管理やムダな廃棄を抑えられるよう協力し、目標達成にむけて取り組む。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	全処理委託量	1, 170 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1, 170 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 分別の徹底を呼び掛け、無駄に排出量が増加しない取組を実施		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	全処理委託量	1,100 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	1,100 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更なる分別の細分化を図り、リサイクル出来る物を無駄に廃棄しないよう、従業員に働きかける活動を計画していく。 ・製造課、資材課とも連携することで、在庫管理やムダな廃棄を抑えられるよう協力し、目標達成にむけて取り組む。 			
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	脱水汚泥	
	排出量	9,413 t	t
	（これまでに実施した取組） ・トルラ酵母処理、薬注管理による余剰汚泥の発生抑制 ・生産現場、油脂分の拭き取り徹底		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	8,942 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・トルラ酵母処理、薬注管理による余剰汚泥の発生抑制 ・生産現場、油脂分の拭き取り徹底		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	脱水汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	8, 646 t	t
	(これまでに実施した取組) ・汚泥含水率の測定（月1回） ・脱水機の定期整備、運転管理		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	脱水汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	8, 214 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・汚泥含水率の測定（月1回） ・脱水機の定期整備、運転管理		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	脱水汚泥	
	全処理委託量	767 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	767 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 汚泥の推肥化 ・ 排水負荷の軽減 		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	脱水汚泥	
	全処理委託量	729 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	729 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・汚泥の推肥化 ・排水負荷の軽減 ・廃水処理好気性汚泥の活性化 			
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	
	排出量	6.72 t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 年間に購入する機材の適正購入 ・ 金属の再利用化の推進		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	
	排出量	5 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 年間に購入する機材の適正購入 ・ 金属の再利用化の推進 (有価)		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	8.75 t	t
	(これまでに実施した取組) ・分別の細分化によりリサイクルとして処理		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	
	全処理委託量	5 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	5 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間に購入する機材の適正購入 (製造ラインの更新により変動) ・細分化により有価での取引を推奨していく 		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。